



アメリカの病院図書館ウェブページにみる図書館サービス

小田中 徹也

I. ウェブページ開設のすすめ

アメリカ医学図書館協会 (MLA) のウェブページの中に “Hospital Libraries Section”¹⁾ があり、その中に病院図書館のウェブページ開設を推奨するページ “Develop your own Web pages”²⁾ があります。

その内容を下手な日本語訳で紹介してみます。「ウェブページは、利用者との優れたコミュニケーション手段であり、また印刷体資料の利用促進や電子サービスにも有効な手段となっている。すでに、50館以上の図書館がさまざまなスタイルと内容のページを開設運営している。“Eric Rumsey’s Medical HealthSciences Libraries on the Web”³⁾ では、これらの病院図書館と医学図書館を紹介しているので、皆さんのウェブページ作成にあたって、そのアイデアやデザインを参考にさせていただきたい。また、作成にあたっては何かから始めるか、それには “WebTeacher”⁴⁾ が作成の手順を段階を追って解説しているので便利です。また、次のサイトが手ほどき、スタイル指針、HTML解説、アドオン機能など、技術レベルに応じた説明があるので便利です。」ということで、このWebTeacherの他、テクニカルな面を指導するページがレベルに応じて多数紹介されています。

ここでも述べてあるように、Eric Rumsey’s …に紹介されているサイトは、ハーバード大学の「大学病院」である “Massachusetts Gener-

al Hospital”⁵⁾ やカリフォルニア州立大学サンフランシスコ校の “San Francisco General Hospital”⁶⁾ など、多くの大学病院図書館が含まれています。もっとも、このふたつはさすがに個性的で一見の価値はあり、内容的にも学ぶところが多くあります。また、…Health Systems” のような名前の大規模な医療保健サービス法人のセンター図書館もかなりあり、日本のいわゆる病院図書館と同列にはできません。しかし、これから開設予定のアメリカの病院図書館もウェブページ作成に当っては参考にするようなページなら、私たち日本の病院図書館関係者も何か参考になるはずです。そこで、病床数が500~1,000床程度の総合病院の図書館ページを幾つかネットサーフィン (今や死語) して、そのウェブ事情を探ってみました。

II. 病院図書館ウェブページ訪問

1. Saint Joseph Hospital Medical Library⁷⁾

コロラド州の州都といっても人口約50万、デンバー市にある “Saint Joseph Hospital” は、「医療法人」Exempla Healthcareの中のひとつのようです。医療と図書館を辛うじて示す小さな画像がふたつだけで、サービス内容、電話番号、開館時間、理念、あるいは所蔵資料やインターネット関係の利用案内メニューは、本文でリンクされています。(図1)

この図書館はMedical Profesional Libraryと銘打ってあって一般向の情報は提供していませんが、同じコロラド州の田舎町Grand Junction市にある “Community Hospital” のConsumer

こだなか てつや：国立京都病院

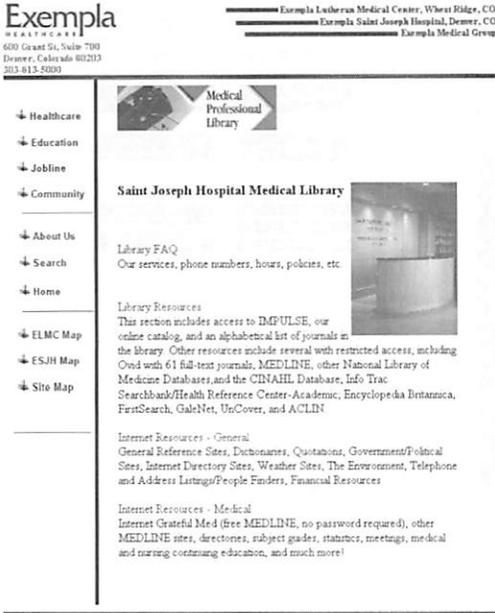


図 1.

Health Library⁸⁾はその名のとおり一般向(Consumer)の情報提供を前面に打出しています。大きな二つの川の合流点という土地柄なのか、天気予報のサイトをメニューに入れているのが珍しいサイトです。(図2)

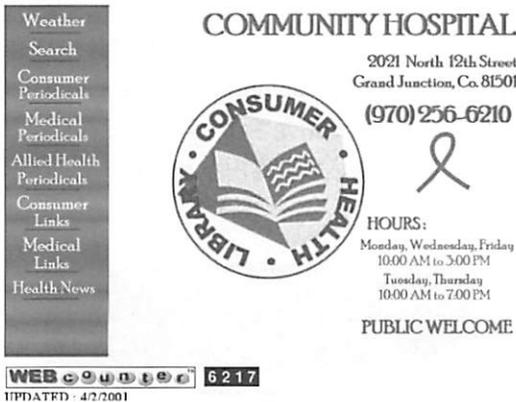


図 2.

2. Watson Clinic Library⁹⁾

フロリダ州の冬の行楽地レークランド市にある Watson Clinic Libraryは、先ず住所と図書館の目的の説明があり、以下、目次と本文がいき

なり表示されるスタイルをとっています。よくありがちなメニュー形式をとっていないのは、クリニックだからでしょうか。それにしても、図書館職員が5人もいて羨ましい限りです。いずれにしても、「病院図書室」のような規模ならこの程度で十分その内容がわかるので、図では示しません。参考になる一例です。

3. Lowell General Hospital: Health Sciences Library¹⁰⁾

マサチューセッツ州の人口10万の古い町ローエル市にある“Lowell General Hospital”の図書館のトップページは、いきなり所蔵資料の検索画面が現れるので驚きます。しかし、控えめなデザインの図書館名画像と最小限の文字数なので、読み込みが速くて助かります。(図3)



図 3.

4. Saginaw Health Sciences Library¹¹⁾

ミシガン州の自動車の都デトロイト市の“Saginaw Cooperative Hospitals”のセンター図書館のようです。私がネットサーフィンで見かけた中では最も派手なトップページでした。ページの上右左にアイコン型のメニューが並び、医学文献データベースはもとより、サーチエンジンもそれぞれのアイコンでリンクしています。さらには流行のPDA、“Palm”の医療へ

の利用法紹介もアイコンでリンクしています。このサイトは図書館員の余技ではなくプロの仕事のようです。(図4)

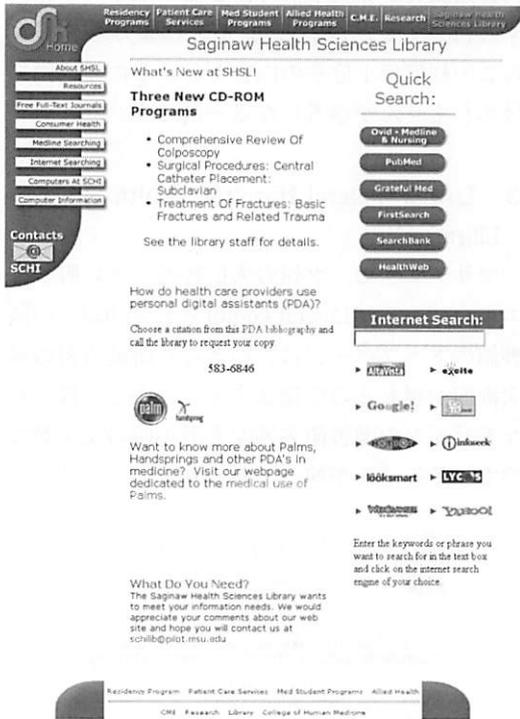


図4.

5. Rapid City Regional Hospital: Health Sciences Library¹²⁾

サウスダコタ州の山地麓にあるラピッドシティという鉱山町の病院図書館ウェブページは、朝7時から夜の8時まで開館し、長時間、図書館員が利用者に対応している図書館です。トップページはデザインと内容ともに過不足なく、また、重過ぎでもなく地味過ぎでもなく、スタンダードなページだと思いました。メニューの他に文章として表示されているのは、次の一文だけでした。“The Health Sciences Library provides information services to health care professionals and the general public.” ここでも述べられているように、病院図書館がウェブで市民に情報を提供しているのは一般的な傾向のようです。(図5)

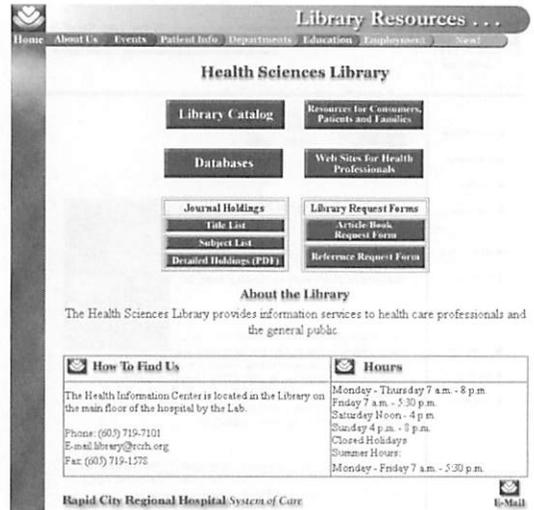


図5.

6. St. Joseph Hospital Medical Library¹³⁾

西海岸ワシントン州のカナダとの国境近くの町、人口約5万のベリングハム市にある総合病院の図書館です。これは今まで見てきた中でも、文字だけの最も地味なデザインですが、内容は他に比べ見劣りせず、立派なウェブページです。また、最新更新日は今年の3月28日と、つい最近のことでした。ただ、あまりに愛想のない表情は、日本のウェブページを見なれた眼には寂しさを感じるのも否めません。(図6) なお、このワシントン州には病院図書館員の団体“Washington Medical Librarians Association”¹⁴⁾のウェブページが紹介されていて、そこでは会員募集や研修会活動の案内などがあって、興味深く読みました。



図6.

Ⅲ. コンテンツの考察

さて、これらの病院図書館のウェブページではどのような内容が掲載されているのか、メニューの立て方はさまざまですが、おおむね次のような項目がどの図書館でも挙げてあります。

1. 図書館案内：図書館名、理念 (Mission)、住所 (場合によっては地図も)、電話番号、開館時間、スタッフとその電話番号やメールアドレス。これらは、必ずどの図書館でも紹介されています。日本の場合、得てしてスタッフの名前やメールアドレスが掲載されていない場合が多いように思います。

2. 所蔵資料：逐次刊行物所蔵目録、書籍目録 (所蔵検索エンジン付きも)。書籍目録を掲載する例はそう多くありませんが、テキストブックやレファレンス関連の資料を挙げる例は多くありました。

3. サービス：文献検索の相談とサービス、文献入手、コンテンツサービス、コンピュータ・トレーニング、個別情報処理相談などがありました。また、文献の検索や入手、書籍の貸出予約について、ウェブページ上で済ませられるフォーム形式を用意しているサイトは、大学の医学図書館では普通になっていますが、病院図書館でも幾つかありました。

4. 利用案内：日本では利用者教育ともいわれますが、アメリカでも呼び方はさまざまで、Education、Classes、Instruction、Tutoring、Workshopなどの形で開かれています。コンピュータ・トレーニング教室はここに含まれる例もありました。

5. インターネット情報資源：PubMed、IGMをはじめとするMEDLINE検索は必ず紹介されています。また、Cochrane LibraryなどEBM関連へのリンクも時々見かけます。フルテキストの電子ジャーナルや教科書のリンク集もほとんどが備えています。その他、看護関係のデータベースCINAHLや、OVID DatabaseあるいはHarrison's Onlineなど職員の利用に限ったものも見かけました。インターネット情報について

は、当然のことながら質量ともにどの図書館もかなりのスペースを割き、生命科学情報に限らず一般のサーチエンジンのリストを挙げているページもかなりあります。ある意味では、この分野の膨大な情報資源をいかに整理し効率よく利用者に紹介するかが、その図書館員の知識と見識の見せ場かとも思えます。

6. 一般向け医学情報：原文ではConsumer Health Info、For the General Public、Patient Educationなど呼び方はさまざまですが、これも多くの図書館でかなりのウエイトを占め、医療者向けと並列してメニュー化されているところもあります。ちなみに、MEDLINE plus、Clinical Trials. gov、Washington Post Health Section、その他がリンク集として紹介されていました。

7. ニュースと更新記録：意外に少ないように思いました。

8. 著作権事項：トップページの最後には (C) として、このウェブページの著作者、発行開始年、最新更新日付が必ず入っています。これも日本の病院図書館では徹底していない傾向のように思います。

Ⅳ. 若干の感想

ここで紹介したアメリカの病院は、人口5万人から最大のデトロイト市でも約100万人程度の、しかもどちらかといえば地方にある病院図書館でした。しかし、インターネットのお蔭でPubMedをはじめとする文献データベースやさまざまなインターネット情報資源は、大都市や有名大学の医学図書館と同じく享受しているのがわかります。これは日本も同じことで、インターネット時代では当り前のことながら、こうして各図書館のウェブページを巡ってみると改めてその威力を実感します。

さて、各ページを見て思ったことを2、3述べますと、先ずシンプルなデザインと内容構成があります。JavaやアニメーションGIF、レイヤー機能などで派手な見栄えを見せるものはほ

とんど無く、また大きな写真を使った重いページも皆無でした。これは医学図書館にも云える特徴で、画面一杯に画像やメニューが溢れた商業サイトとは違い、どこも静かでスッキリした佇まいです。次に、インターネット上の生命科学情報を医療者のみならず、一般向へも図書館員が水先案内していることが挙げられます。また、責任の所在を明確にしていること、つまりスタッフとその役割、アクセス方法が必ず紹介されている点も特徴的でした。

病院図書館のスタッフ数が日本の場合は1、

2名が精々であるのに対し、アメリカでは4、5名が中心であること、病院の設置基盤の違いなどで事情は異なると思います。しかし、日本でも医療機能評価では「ホームページ」での情報発信が問われる今日、これらアメリカの病院図書館のページが何かの参考になれば幸いです。なお、先のEric Rumsey's...のサイトでは、アメリカ以外にオーストラリア、カナダ、ドイツ、イギリス、その他の国々の病院図書館も幾つか紹介されています。ご興味のある方は一度訪れてみてください。

URLs

- 1) MLA:Hospital Libraries Section (<http://www.hls.mlanet.org/>)
- 2) Develop your own Web pages (http://www.hls.mlanet.org/WebResources/Web_Pages.html)
- 3) WebTeacher (<http://www.webteacher.org/winnet/>)
- 4) Eric Rumsey's Medical/Health Sciences Libraries on the Web (<http://www.lib.uiowa.edu/hardin-www/hslibs.html>)
- 5) Massachusetts General Hospital: Treadwell Library (<http://www.lib.uiowa.edu/hardin-www/hslibs.html>)
- 6) San Francisco General Hospital: The Barnett-Briggs Library (<http://sfghdean.ucsf.edu/barnett/default.asp>)
- 7) Saint Joseph Hospital Medical Library (<http://www.saintjosephdenver.org/medlib.htm>)
- 8) Community Hospital (<http://www.colosys.net/~janetn/lib2.htm>)
- 9) Watson Clinic Library (<http://www.watsonclinic.com/html.doc/library.htm>)
- 10) Lowell General Hospital: Health Sciences Library (<http://lowellgeneral.library.net/>)
- 11) Saginaw Health Sciences Library (<http://www.schi.org/shsl/index.html>)
- 12) Rapid City Regional Hospital: Health Sciences Library (<http://www.rcrh.org/education/libraryResources.htm>)
- 13) St. Joseph Hospital Medical Library (<http://www.sjhbells.com/>)
- 14) Washington Medical Librarians Association (<http://www.wmla.org/>)